



耐久 ~ 真健美 ~



平成23年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times May
マンスリータイムズ 5月号

大会に向けて決意を新たに！ ~ クラブ壮行会

20日(金) 前期中間考査全日程終了後、体育館で県高校総合体育大会に出場する14の体育クラブ員と、6月に行われる全国高校放送コンテストに出場する放送演劇部員を激励するために壮行会が行われました。

出場する生徒は、吹奏楽部員による演奏により入場し、各クラブとも大会に出場するユニホームを着て整列しました。入場後に行われた全校生徒による校歌斉唱は、出場選手たちに対する健闘を祈る思いも込められた大きな歌声が、体育館内に響きわたりました。壮行会では、校長による激励の挨拶のあと、生徒を代表して小笠原佳世さんより応援のメッセージが送られました。また、各クラブごとに勝利を目指す決意の言葉がありました。

3年生はこの大会を最後に引退する生徒も多く、ほとんどのクラブは、このメンバーで臨む大会はこれで最後となります。チームでの仲間を信じ、自分の力を信じ、今まで支えてくれた周囲の人たちへの感謝の気持ちを忘れず、悔いのない演技やプレーをしてほしいと思います。選手諸君の健闘を、心からお祈りいたします。

教員を目指して ~ 教育実習開始

23日(月)から2週間または3週間の日程で、本年度の教育実習がスタートしました。本年度の教育実習生は、本校卒業生9名です。教育実習を始めるにあたり、オリエンテーションが行われました。

実習における心構えや留意点、勤務時間や時令、授業を行う上での注意等、教員として教壇に立つ上で必要な内容についての説明が行われました。教育実習を通じ、大学生活にはないさまざまな事を吸収することで、教員を目指す実習生にとって、実り多い実習になることを望みます。



生活を見つめ直し、夢を叶えるために ~ 1,2年生進路講演会

26日(木) 1年生と2年生の進路講演会が行われました。講演会は学年ごとに行われ、それぞれの学年の現状や学習状況等の分析について状況説明がありました。本校1,2年生の生徒の状況は、約8割程度の生徒が毎日、何らかのクラブ活動を行っています。1年生と2年生では状況は多少異なりますが、ほとんどの生徒が、クラブ活動と勉学の両立を目標にがんばっています。この講演会をきっかけに、文武両道を実現するために、学校や家庭での学習時間や学習状況などを見つめ直す機会とし、自らの目標設定を行い、夢の実現に向け努力してほしいと思います。



危険な薬物から身を守るために ~ 2,3年生 薬物乱用防止講演会

30日(月) 2,3年生の生徒を対象とした薬物乱用防止講演会が各学年ごとに行われました。3年生は「薬物乱用防止」をテーマに、湯浅警察署生活安全刑事課 廣原聡先生、片山雄一先生を講師としてお招きし、ご講演をいただきました。ご講演いただいたおもな内容は、社会問題となっている薬物乱用について、青少年も含めた社会全体に広がっている状況について説明していただきました。現状や身近で起こっている犯罪や麻薬や覚醒剤等の恐ろしさなど、薬物から自らを守る必要性について学びました。お二人の先生方より、写真や資料を見せていただきながら、具体的でわかりやすい内容のお話をしていただきました。薬物を遊び感覚やファッション感覚による使用など、青少年の薬物乱用への誤った意識や理解に関する状況を知ること、自らを守り、健全生活することの大切さについての認識を深める機会となりました。

また、2年生では、薬とタバコの害を中心に医薬品の正しい使用法などの講演会が行われました。講師として、学校薬剤師の野田京子先生をお招きし、ご講演をいただきました。内容は、薬の飲みかたに関する注意点や、喫煙の及ぼす害などについて丁寧に説明いただきました。喫煙は習慣化し健康を害することや、医薬品は使用法を間違えると健康を害することもあり、正しい知識を得ることが大切であることを学びました。



防災について考える ~ 1年生 防災読書会

30日(月) 防災意識の向上のために、防災に関する読書会が行われました。今回使用した本は、「津波防災を考える - 稲むらの火が語るもの」伊藤和明著、「考え直そう地震防災」茂木清夫著、「地震イツモノート」地震イツモプロジェクト、渥美公秀、寄藤文平著等をクラスごとに選択し読書会が行なわれました。特に湯浅町は、過去に起こった大地震の際、津波による大きな被害を受けていることもあり、より防災に対する意識を高めることが必要であると思います。

6月の予定

7日~8日
13日
14日
16日
22日
27日



クラス対抗スポーツ祭
1・2年生コース説明会
スポーツテスト
校内一斉読書会
代議員制生徒総会
避難訓練

